

いばらき県央地域連携中枢都市圏ビジョンの取組について 令和4年度 概要版

I 地域経済の活性化（圏域全体の経済成長のけん引）

① 事業者の経営力強化事業

（令和4年度決算額 11,369千円，令和5年度予算額 12,924千円）

○ 令和4年度実績

産業活性化コーディネーターについて，従来の配置に加えて新たに水戸市，笠間市・城里町，小美玉市・茨城町・大洗町にそれぞれ1名ずつ配置し，国・県・市町村補助制度の活用や企業間マッチング，人材確保，経営相談などに関する事業者支援を実施した（企業訪問件数 895件）。

○ 令和5年度以降の計画

産業活性化コーディネーターを水戸市，笠間市・城里町，小美玉市・茨城町・大洗町にそれぞれ1名ずつ配置継続し，事業者支援を実施する。

② 先進的農業実践人材の育成事業

（令和4年度決算額 643千円，令和5年度予算額 2,480千円）

(1) ICT等を活用した次世代農業に係る実証実験や研修

○ 令和4年度実績

ドローン技術と機体の種類，デジタルツイン技術の農業への応用研修を行った（参加者20名）。NDVIを活用したドローンによる生育分析，草刈りロボット実演，農業・畜産分野のNTTドコモの取組を紹介した（参加者17名）。

○ 令和5年度以降の計画

農業人材育成コンソーシアムに参加し，実証実験に参加する。また，他の企業や大学等での実証実験も検討する。

(2) ドローン研修へ参加する農業者の支援

○ 令和4年度実績

初心者向けドローン研修を行い，基本操作やドローンの体験を行った（参加者7名）。

○ 令和5年度以降の計画

年に1～2回程度ドローン研修を行う。

③ 地場産品の販路拡大とブランディング事業

(令和4年度決算額 605千円, 令和5年度予算額 3,100千円)

(1) 地場産品PRカタログの作成

○ 令和4年度実績

県央地域の地場産品の販路拡大推進のため、PRカタログ5,000部を作成した。

○ 令和5年度以降の計画

PRカタログの効果的な活用方法を検討し、地場産品の販路拡大を推進していく。



(2) 産業祭等への出店

○ 令和4年度実績

令和5年度に産業祭等へ出店するための準備として、圏域内の産業祭等の開催状況について情報収集をした。

○ 令和5年度以降の計画

産業祭等のイベントへの出店

(3) 地場産品を使った新メニューの提供促進

○ 令和5年度以降の計画

圏域内の地場産品の魅力を高めるため、新メニューの開発を推進する。

(4) ほしいもブランディングに係る取組

○ 令和5年度以降の計画

ほしいもの日本一の産地である県央地域としての差別化を行い、消費者にPRする。

④ 戦略的観光プロモーション事業

(令和4年度決算額 10,000千円, 令和5年度予算額 10,000千円)

(1) 情報発信ツールの活用

○ 令和4年度実績

ア 食資源を活用したプロモーション「あす旅米粉バウム」の開発・販売

水戸市の梅、ひたちなか市のコーヒー、小美玉市の米粉とさつまいも、城里町のゆずといった県央地域の食資源を使用した「あす旅米粉バウム」を開発・販売した。

販売に際しては、茨城新聞等メディアに掲載したほか、動画でのPRや月刊誌での紹介、また、購入者に観光協議会のガイドブックを配布するなど、県央地域の魅力を発信した。

イ 広域観光ガイドブック「いばらき県央 あす旅手帖」の増刷(17,500部)

あす旅手帖を県央地域の各観光案内所や各市町村開催のイベント、水戸ホーリーホックアウェー会場等で配布した。

ウ 観光協議会ホームページやInstagramによる観光情報の発信

9市町村の多彩な観光情報をホームページ等で定期的に発信した。

9市町村の観光PR素材を収集し、年間を通じた継続的なPRや発信するコンテンツの充実を図った(SNSフォロワー数 1,976人)。

エ インバウンド向け情報サイトへの掲載

インバウンド観光の受入環境づくりのための案内ページを作成し、県央地域各市町村の観光情報を多言語で紹介した。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き、ガイドブックや観光協議会専用のホームページ、Instagramにおいて、メインターゲット(首都圏在住20~30歳代女性)を意識した観光情報の発信に取り組む。また、県央地域を代表する観光資源の一つである「食」について、魅力を伝えるプロモーションを実施する。

(2) 広告出稿

○ 令和4年度実績

ア フリーペーパー『メトロミニッツ』の活用

メインターゲット（首都圏在住 20～30 歳代女性）向けの魅力発信，誘客及び宿泊促進を目的として，東京メトロ各駅に設置されているフリーペーパーに3か月にわたって特集記事を連載した。

特集記事は，県央地域の「朝の景色」をテーマとし，「海街」，「アウトドア」，「地元食材グルメ」の3つの視点で作成した。

イ 情報 Web サイト『ぷらっとみと』，月刊ぷらざ，ことりっぷ WEB への情報掲載

茨城県央エリアの暮らしに関する情報 Web サイトへ情報掲載し，観光協議会専用ホームページや Instagram への誘導を図った。

月刊ぷらざ県央版・県南版に「あす旅米粉バウム」を紹介する記事を掲載した。

ことりっぷ WEB 及びアプリにおいてバナー広告を実施し，「あす旅米粉バウム」と「9 市町村の春のお出かけ情報」について紹介した。

○ 令和5年度以降の計画

県央地域への誘客，認知度向上に資する観光協議会事業を効果的に発信するため，様々な手法による広告出稿を行う。

(3) 観光キャンペーン実施

○ 令和4年度実績

ア いばらき県央地域冬の観光キャンペーン

守谷サービスエリアにおいて，首都圏からの観光客などに対して観光パンフレットやチラシの配布を行い，県央地域の魅力発信及び広域観光の推進を図った。

Instagram アカウントを当日フォローした方へのプレゼントキャンペーンを行った（62 フォロー獲得）

○ 令和5年度以降の計画

県央地域の観光地としての認知度向上及び観光協議会事業を広く PR するため，観光キャンペーンを実施する。



⑤ 誘客と観光消費促進事業

(令和4年度決算額 10,000千円, 令和5年度予算額 10,000千円)

(1) 圏域内の周遊促進

○ 令和4年度実績

ア 周遊ツアーの催行

茨城県観光物産協会内「いばらきツアーオフィス」主催の「秋のいばらきよいとこプラン」を活用し、周遊ツアーを企画・催行した。

旅行事業者への委託による宿泊型周遊ツアーを販売・催行し、滞在時間及び観光消費の増加を図った。

イ 公共交通を活用した周遊モデルコースの作成

路線バスやタクシー、レンタサイクルなどを活用した周遊モデルコースを作成し、観光協議会専用ホームページやInstagramで周知した。

○ 令和5年度以降の計画

誘客と周遊の促進を図るため、令和4年度に作成したモデルコースのPRや、県央地域を舞台としたSNSフォトコンテストを実施する。

(2) 物産イベントへの出展

○ 令和4年度実績

ア ことりっぷ旅するマルシェ 2022 への出展

2日間の都内のイベントへの出展を通じ、主に20～40代の旅好きな女性向けに県央地域の特産品の認知度向上や販売促進を図るとともに、展示パネルによる9市町村紹介、観光パンフレット配布を行い、県央地域の魅力を発信した。

特産品の出品は19事業者19商品、売上は228,778円であった。

○ 令和5年度以降の計画

県央地域の特産品等のPRや認知度向上を図ることを目的とした物産イベントを実施する。



(3) 体験プログラムの充実

○ 令和4年度実績

ア Girl's CAMP PARK2022 の開催

県央地域の豊かな自然を体感できる潤沼自然公園キャンプ場において、食資源や体験を取り入れた2日間のキャンプイベントを実施した（延べ来場者約300名うち宿泊者76名）。

県央地域の食材を使ったオリジナルキャンプ飯のレシピを作成し、作り方を動画で発信するとともに、当日の来場者には食材セットの販売、宿泊者には特産品を使った料理を提供した。

空中ヨガや和菓子のねりきり作り等、女性が楽しめる体験ブースも設置し、特産品や体験プログラムのPR、認知度向上とあわせて、観光消費の促進を図った。

○ 令和5年度以降の計画

県央地域ならではの体験の発掘及び磨き上げに取り組みながら、キャンプイベント等体験を取り入れたイベントを行う。



<https://youtu.be/yKmXmLU-SPs>



<https://youtu.be/GjLOpMieoLI>



<https://youtu.be/VZS37cend2c>



<https://youtu.be/HpcBd6fQEog>



<https://youtu.be/P DfRI7gvtA>



※ ビジョンにおける「Ⅰ 地域経済の活性化」の成果指標

		ビジョン策定時点 の直近の値	2022(R4)年度末 時点の直近の値	目標値	
地域経済の活性化（圏域全体の経済成長のけん引）					
1	総生産	時点(年度)	2018(H30)	2019(R1)	2026(R8)
		値(百万円)	3,378,567	3,400,010	3,739,000
2	事業所の従事者数	時点(年)	2016(H28)	2021(R3)	2026(R8)
		値(人)	320,670	318,042	322,200
3	産業活性化コーディネーター が支援した企業等の支援件数	時点(年度)	2020(R2)	2022(R4)	2026(R8)
		値(件)	570	619	720
4	新規就農者数(45歳未満の者 に限る。)	時点(年度)	2019(R1)	2021(R3)	2026(R8)
		値(人)	52	62	70
5	観光交流人口(観光入込客 数)	時点(年)	2020(R2)	2021(R3)	2026(R8)
		値(人)	11,027,200	11,807,900	20,020,000

Ⅱ 都市機能の向上（高次の都市機能の集積・強化）

⑥ 周産期医療提供体制の維持・確保事業

（令和4年度決算額 20,000千円，令和5年度予算額 20,000千円）

○ 令和4年度実績

高度な周産期医療を安定的に提供できる体制の整備に向け，地域周産期母子医療センターの役割を担う水戸赤十字病院に対し，産婦人科医確保のための経費について財政支援を行った（産婦人科医師数 8人）。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き，水戸赤十字病院に対し，産婦人科医確保のための経費について財政支援を行う。

⑦ 医師確保事業

（令和4年度決算額 0千円，令和5年度予算額 補正予算対応）

○ 令和4年度実績

医療機関開設補助金の補助対象事業に，既存施設における増築等を加えて，制度の拡充を図るとともに，市ホームページや医療雑誌において制度の周知を行った。また，水戸市内の既存医療機関から制度の活用について相談を受けた（1件）。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き，医療機関開設等補助金の周知を図るとともに，利用促進に努める。

⑧ 広域的公共交通ネットワーク構築事業

(令和4年度決算額 0千円, 令和5年度予算額 200千円)

(1) 検討会議の開催

○ 令和4年度実績

全体会議の開催（今後の実施方針決定，茨城交通キャッシュレス決済導入支援に係る検討，MaaS（JR「ひたちのくに紀行」）と連携した利用促進事業検討）

分科会の開催（地域公共交通相互乗入体制構築に係る検討，広域路線バス運行に係る検討）

○ 令和5年度以降の計画

全体会議（3回程度），分科会（2回程度）及び担当者間協議（随時）の開催

(2) MaaS との連携や新たな技術を活用した公共交通の導入

○ 令和4年度実績

JRによる地域・観光型 MaaS「ひたちのくに紀行」において，水戸市及び3市町村（笠間市，ひたちなか市及び大洗町）で利用可能な公共交通機関や観光施設等の電子チケット販売に係る調整を担当した。

○ 令和5年度以降の計画

茨城 DC 開催に伴い「ひたちのくに紀行」が再開される予定につき，本事業及び圏域内の公共交通利用促進事業として，デジタルスタンプラリーの実施等を検討している(事業⑨で実施)。



⑨ 広域的公共交通の利用促進事業

(令和4年度決算額 218千円, 令和5年度予算額 43,679千円)

(1) エコ通勤チャレンジウィークの実施

○ 令和4年度実績

6月(第1回。市町村職員対象)及び12月(第2回。一般通勤通学者対象)にそれぞれ7日間実施した。12月実施分から旧名称(ノーマイカーウィーク)を改め、CO₂削減量を算出して取組結果を可視化するとともに、プレゼント内容を見直し、参加者増加を図った。

○ 令和5年度以降の計画

エコ通勤チャレンジウィークの実施(年2回予定)

令和4年度第1回 茨城県央地域
ノーマイカーウィーク
 に参加しよう!
【取組期間】6/1(水)~6/7(火)

参加することで、こんなメリットがあります!

- 歩くことで健康増進! ダイエット・生活習慣病予防にもなる!
(1時間の歩行を車から公共交通に置き換えれば、消費カロリーは2倍以上)
- ガソリン代を節約できる!
(片道10km通勤の場合、7日約2,000円)
- CO₂排出量を削減できる!
(1人を1km運ぶために排出されるCO₂の量は、鉄道は車の約1/7、バスは約1/2)

交通事業者のコロナ対策・乗車マナー

【公共交通事業者の取組】

- 車内の換気
- 飛沫防止のためのシートの設置
- 従業員のマスク着用
- 座席やつり革の消毒

など、皆様が安心して公共交通を利用できるよう、感染症拡大防止のための取組を実施しています。

【公共交通を利用する皆様へ】

公共交通を安心して利用いただくために、換エチケット、マスク着用、手洗いなど、感染防止マナーにご協力ください。

参加後は、ノーマイカーウィークに関するアンケートにご協力をお願いします!
車のICカードからアクセス!

主催: いばらき県央地域連携中核都市圏構想実行委員会
(水戸市、笠間市、ひたもなか市、那珂市、小泉玉野、茨城町、大洗町、城島町、東海村)
 問合せ先: 水戸市交通政策課 (電話: 029-291-3804)

「いばらき県央地域連携中核都市圏ビジョン」事業
毎日の通勤を「エコ」に
エコ通勤
 チャレンジウィーク
 2022/12/20(火)~12/26(月)

「エコ通勤」とは?
 アルマ通勤から、より環境にやさしいエコな通勤手段に転換することです。
 電車通勤、バス通勤、自転車通勤、徒歩通勤などは、すべてエコ通勤。部分的にアルマを使うパーク・アンド・ライド通勤も、エコ通勤に含まれます。

地球温暖化の進行に伴い、今後、豪雨や猛暑リスクがさらに高まることが予測されています。
 CO₂削減にも効果的な「クルマ利用の見直し」に取り組んでみませんか。

「エコ通勤」にチャレンジしてみよう!

皆さん一人一人が、自分の少しクルマの利用を減らすだけで、社会全体のCO₂排出量を大きく削減することもできます。
 まずは週に1回だけでも、無理なく、できる範囲で取り組んでみましょう。

1日10分車を控えると、
1年間に410kgもCO₂を削減できます!!

「エコ通勤」ってイイかも!

- 徒歩や自転車でも健康的に
- ガソリンを使わず家計にやさしい
- 電車やバス通勤の合間に読書やSNS

主催: 県央地域9市町村(水戸市、笠間市、ひたもなか市、那珂市、小泉玉野、茨城町、大洗町、城島町、東海村)
 お問い合わせ先: 水戸市市長公室交通政策課 (電話番号: 029-291-3804)

(2) 企画乗車券の販売, ICカードの導入

○ 令和4年度実績

大洗鹿島線等におけるSuicaの導入可能性について検討を行った。

茨城交通路線バスへのキャッシュレス決済システム導入について、県央地域として支援する方針とした。

○ 令和5年度以降の計画

MaaS事業(JR「ひたちのくに紀行」)と連携した公共交通利用促進事業の実施
 MaaSと連携した公共交通の利用促進手法及び企画乗車券販売の検討
 茨城交通路線バスへのキャッシュレス決済システム導入支援

⑩ 大学との連携推進事業

(令和4年度決算額 0千円, 令和5年度予算額 100千円)

○ 令和4年度実績

大学と連携した調査・研究を行うため、構成市町村とともに連携テーマとなる地域課題の候補をとりまとめ、茨城大学及び常磐大学の地域連携担当部署と協議を行った。

○ 令和5年度以降の計画

令和5年度以降は、地域課題の更なる深掘りを行うとともに、大学教員等と具体的に調査・研究テーマの協議・検討を進め、事業化を目指す。

⑪ ICTによるまちづくり推進事業

(令和4年度決算額 88千円, 令和5年度予算額 700千円)

(1) 職員人材育成研修会

○ 令和4年度実績

ICT行政先進自治体である栃木県真岡市にて、取組事例等を学び、情報交換を行う合同視察研修会を開催した(参加:9市町村担当者33名)。

○ 令和5年度以降の計画

職員のICTにかかる知識・スキルの向上にかかる研修会等を年1回程度開催していく。

(2) ICTを活用した住民サービスの向上

○ 令和4年度実績

利便性の高い住民サービス実現のため、公共施設の予約システムの9市町村での共同利用等について、検討を行った。

○ 令和5年度以降の計画

効果的な住民サービス向上に向けた9市町村での連携事業を検討していく。

※ ビジョンにおける「Ⅱ 都市機能の向上」の成果指標

		ビジョン策定時点 の直近の値	2022(R4)年度末 時点の直近の値	目標値	
都市機能の向上(高次の都市機能の集積・強化)					
1	総合周産期母子医療センター 及び地域周産期母子医療センター数	時点(年度)	2021(R3)	2022(R4)	2026(R8)
		値(箇所)	2	2	2
2	医師数	時点(年)	2018(H30)	2020(R2)	2026(R8)
		値(人)	1,385	1,480	1,470
3	広域的公共交通ネットワーク等 に係る社会実験の取組件数	時点(年度)	2021(R3)	2022(R4)	2026(R8)
		値(累計件)	-	-	2
4	大学と連携した調査・研究の取 組件数	時点(年度)	2021(R3)	2022(R4)	2026(R8)
		値(累計件)	-	-	2
5	ICTを活用した社会実験の取 組件数	時点(年度)	2021(R3)	2022(R4)	2026(R8)
		値(累計件)	-	-	2

Ⅲ 生活環境の充実（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

⑫ 救急医療情報等発信事業

(令和4年度決算額 102千円, 令和5年度予算額 180千円)

(1) 小児救急セミナーの開催

○ 令和4年度実績

未就学児の保護者を対象に、子どもの急な病気やケガへの対応方法のほか、新型コロナウイルス感染症の現状等を学ぶことのできるセミナーを開催した（28組72人（うち大人46人）参加）。また、同セミナーの内容については、当日参加できなかった保護者も視聴できるよう、後日、インターネット上で動画を配信した。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き、各市町村を会場として、本セミナーを実施する。（令和5年度 笠間市、城里町）

(2) 適正受診等の周知

○ 令和4年度実績

感染症流行期等における医療機関等への相談や受診の方法、救急医療等の適正利用について、市町村広報紙や茨城県救急電話相談の広報ポスター等で周知した。また、ゴールデンウィーク、お盆及び年末年始における圏域の初期救急医療機関の診療体制の情報発信を行った。

○ 令和5年度以降の計画

上記を継続するとともに、紙媒体での情報発信を廃止し、デジタル化を図る。

⑬ 初期救急医療提供体制維持・確保事業

(令和4年度決算額 97,298千円, 令和5年度予算額 102,885千円)

○ 令和4年度実績

水戸市休日夜間緊急診療所への財政支援を実施し、休日や夜間における診療体制を維持するとともに、新型コロナウイルスの感染が拡大している時期においては、検査体制を整備し、医療提供体制の維持・確保を図った。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き、水戸市休日夜間緊急診療所への財政支援を継続し、初期救急医療提供体制の維持・確保を図る。

⑭ 看護師等確保事業

(令和4年度決算額 0千円, 令和5年度予算額 250千円)

(1) 茨城県看護協会の復職支援に関する事業の周知

○ 令和4年度実績

茨城県看護協会が実施する看護職再就業支援研修及び潜在看護職研修について、SNS等により周知を行った。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き、茨城県看護協会が実施する復職支援に関する事業等の周知に取り組む。

(2) 病院見学ツアー

○ 令和4年度実績

新型コロナウイルス感染症の影響により、潜在看護師の復職支援を目的とした病院見学ツアーについては、開催を見送った。

代替えの取組として、潜在看護師の復職だけでなく、将来、圏域内の医療を支える看護職を確保する観点から、将来、市内の医療機関等への勤務を希望する受験生を対象に、水戸市医師会看護専門学院が実施する特定市町村推薦入試への推薦を行った。(圏域内2名推薦)

○ 令和5年度以降の計画

引き続き、茨城県看護協会と連携し、潜在看護師や学生等を対象に、医療機関等での看護職体験等の就職・再就職の支援に取り組む。

⑮ 未来の医療人材育成事業

(令和4年度決算額 0千円, 令和5年度予算額 120千円)

○ 令和4年度実績

新型コロナウイルス感染症の影響により、病院内での医療体験等については、実施を見送った。代替事業として、水戸献血連合会が開催するキッズ献血とあわせて、看護師、薬剤師の体験ができるイベントを開催した。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き、小中学生が実際の医療現場や医療の状況に触れ、職業としての医療への興味・関心を高める取組を実施する。

⑯ ICTを活用した健康づくり事業

(令和4年度決算額 517千円, 令和5年度予算額 560千円)

(1) 健康づくりに関するアンケート

○ 令和4年度実績

健康づくりに関するアンケート調査を実施した(設問22問, 調査期間8/16~9/15, 標本数3,500本, 回答数1,155本, 回答率33.0%)。

アンケート結果をクロス集計を含め集計・分析し、協議会に報告した。

(2) 茨城県央地域ウエルネス推進協議会の開催

○ 令和4年度実績

有識者の委員18名で構成する茨城県央地域ウエルネス推進協議会において、健康づくりに関するアンケート調査結果や社会実験の進め方について意見をいただいた。

担当者部会において社会実験の候補を検討した。

○ 令和5年度以降の計画

茨城県央地域ウエルネス推進協議会を開催し、社会実験について協議し実施していく。

⑰ 成年後見制度利用促進事業

(令和4年度決算額 26,532千円, 令和5年度予算額 29,020千円)

(1) 普及啓発（パンフレット等の作成・配布, 学習会開催等）

○ 令和4年度実績

パンフレット7,260部及びリーフレット7,850部を作成し, 市町村及び金融機関の窓口へ設置した。

権利擁護サポートセンターだよりの発行(4回)及び広報誌(4回), ホームページ等で情報発信を行った。

市民向け学習会を行った(笠間市1回)。

○ 令和5年度以降の計画

パンフレット等の配布及び学習会の開催等を通じて, 成年後見制度の普及啓発活動を推進していく。

(2) 相談支援

○ 令和4年度実績

成年後見制度の利用に関する相談を行った(1,214件のうち新規62件)。

○ 令和5年度以降の計画

権利擁護サポートセンターを中心とした地域ネットワークを生かした相談支援体制を構築していく。

(3) 利用促進「受任候補者調整等の支援」

○ 令和4年度実績

被後見人の受任候補者マッチング会議を1回開催した(8月)。

市民後見人候補者等支援を行うとともに, 家庭裁判所との連携を図った。

○ 令和5年度以降の計画

上記取組を継続する。

(4) 利用促進「市民後見人及び後見業務受託法人の育成・支援」

○ 令和4年度実績

市民後見人養成講座を開催した。

市民後見人養成講座フォローアップ研修を2回実施した(12/12, 12/20)。

市民後見人養成講座修了生が生活支援員や後見支援員として活動した。

法人後見受任団体が増えた(ひたちなか市, 小美玉市)。

○ 令和5年度以降の計画

市民後見人及び法人後見受託法人の育成・支援を図る。

市民後見人養成講座修了生のうち, 成年後見制度の啓発のため成年後見サポーターとして研修会等を通じて活動をする。

(5) 利用促進「法人後見の受任」

○ 令和4年度実績

権利擁護サポートセンターが法人後見として20件を受任した。

○ 令和5年度以降の計画

社会福祉士会など専門職からリレー方式での受任を推進する。

(6) 利用促進「市町村実務担当者向け研修会開催等」

○ 令和4年度実績

成年後見制度の申立てに係る研修会を1回開催した（6月，研修修了者 53人）。

○ 令和5年度以降の計画

上記取組を継続する。

(7) 親族後見人に対する相談支援等

○ 令和4年度実績

親族後見人の相談支援を行った（16件）。

後見人向け相談会を実施した（圏域内5会場）。

親族後見人向けチラシを作成，配布した。

○ 令和5年度以降の計画

親族後見人同士のつながり，相談の場としての集い等を実施する。

(8) 広域中核機関の共同設置・運営

○ 令和4年度実績

広域中核機関である水戸市及び水戸市社会福祉協議会により，地域連携ネットワーク協議会の運営，各市町村中核機関との連携，支援を行った。

圏域市町村による成年後見制度担当部署会議を2回開催した。

○ 令和5年度以降の計画

上記取組を継続，推進する。

⑱ 芸術・文化教育の推進事業

(令和4年度決算額 0千円, 令和5年度予算額 4,623千円)

(1) 各市町村の芸術・文化イベント情報共有

- 令和4年度実績
イベントのチラシ等を各市町村へ配布し、情報共有を行った。
- 令和5年度以降の計画
引き続き継続して情報共有を行っていく。

(2) 水戸芸術館と連携した事業の実施

- 令和4年度実績
水戸芸術館が主催する令和5年度「子どものための音楽会」について、関係市町村の参加に向けた調整を行った。
- 令和5年度以降の計画
令和5年度「子どものための音楽会」を実施する。それ以降も事業を継続する。

⑲ プロスポーツ等による地域活性化事業

(令和4年度決算額 863千円, 令和5年度予算額 2,000千円)

- 令和4年度実績
圏域に拠点があるプロスポーツチーム等の協力のもと、いばらき県央地域スポーツフェスティバルをひたちなか市総合運動公園で開催した(協力チーム5団体6種目(うち1団体1種目中止), 体験教室5種目227人参加, 予約不要のサブコンテンツ337人参加)。
- 令和5年度以降の計画
第2回いばらき県央地域スポーツフェスティバルを9月10日に笠間市総合公園で開催予定。第3回以降は残りの7市町村を巡回開催予定。

第1回 いばらき県央地域 スポーツ フェスティバル

2022 9/3(土) 10:00~15:00 (受付開始9:30) 場 所 ひたちなか市総合運動公園 (ひたちなか市新光町49)

各プロスポーツチーム等による体験教室
 ・バスケットボール(茨城ロボッツ)
 ・バレーボール(日立Astemoリヴァーレ)
 ・チアダンス(茨城ロボッツ)
 ・陸上競技(日立女子陸上部)
 ・サッカー(水戸黄蜂・ジェフユナイテッド市原・千葉)
 ・フットサル(マルパ水戸FC)

サブコンテンツ
 ・キックターゲット(サッカー)
 ・フリースロー(バスケット)
 ・バスリレー(バレー)

飲食・物販コーナー
 ・地元飲食店、各チームのグッズ等販売店によるブースを設置

主催：いばらき県央地域連携中核都市圏9市町村
 (水戸市、笠間市、ひたちなか市、夢野町、小泉町、茨城県、大田町、龍岡市、新井町)

【お問い合わせ先】
 いばらき県央地域連携中核都市圏
 プロスポーツ等による地域活性化事業
 水戸市市民協働課スポーツ課 ☎ 029-306-8136 または
 ひたちなか市市民生活課スポーツ推進課 ☎ 029-273-0111 まで

⑳ 公の施設の広域利用促進事業

(令和4年度決算額 381千円, 令和5年度予算額 500千円)

(1) いばらき県央地域ガイドホームページの運営

○ 令和4年度実績

住民へ周知するためのホームページを運営し、広域利用が可能な公共施設や県央地域の相互参加可能なイベント等を掲載した。

○ 令和5年度以降の計画

上記を継続する。ただし、ホームページのレイアウト等が古いため、令和5年度に見直しに着手する。

(2) 広域利用スタンプラリーによる利用促進

○ 令和4年度実績

令和5年度のスタンプラリーに使用するため、応募用紙の付いた広域利用施設ガイドブック4000部を印刷したほか、スタンプ及びスタンプ台を購入した。

○ 令和5年度以降の計画

ガイドブックを配布して周知し、毎年度7月から1月末日までスタンプラリーを実施する。2月に抽選及び賞品発送を行う。

会館・ホール

水戸市	大洗町	城里町
<ul style="list-style-type: none"> ① 国際交流センター 研修室など 駅前16-59 TEL029-221-1800 ② 市民会館 ホール、会議室など 駅前1-71 TEL029-309-6226 ※令和5年7月2日開館予定 ③ ザ・ヒロサワ・シティ会館 千波町東久保697 TEL029-241-1166 	<ul style="list-style-type: none"> ④ トヨベツスマイルホール大洗(漁村センター) 研修室 磯浜町6981-69 TEL029-267-0230 ⑤ トヨベツスマイルホール大洗(町民会館) ホール、会議室 磯浜町6981-68 TEL029-266-2442 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ コミュニティセンター城里 ホール、和室、サークル室、研修室、図書室 石塚1429-1 TEL029-288-6100 ⑦ 東海文化センター ホール、会議室など 船場769-15 TEL029-282-8511
東海村		
<ul style="list-style-type: none"> ⑧ ふれあい交流館 ホール 高神敷台17-6 TEL029-269-5775 ⑨ 文化会館 ホール、会議室 青葉町1-1 TEL029-275-1122 		
ひたちなか市		
<ul style="list-style-type: none"> ⑩ やすらぎの里小川 研修室、和室、洋室、茶室、展示スペース 中延1606-1 TEL0299-58-4580 ⑪ 小川文化センター「アビオス」 ホール、会議室など 小川1225 TEL0299-58-0921 ⑫ 四季文化館「みの〜い」 ホール、練習室、和室 原室1069 TEL0299-48-4466 ⑬ 生涯学習センター「コスモス」 ホール 高崎291-3 TEL0299-26-9111 		

展示・見学施設

※地図は11ページ参照

水戸市	ひたちなか市
<ul style="list-style-type: none"> ⑭ 水戸芸術館(塔) 五軒町1-66 TEL029-227-9111 ⑮ 植物公園 ※スタンプは「ガーデンショップ」内 小笠町504 TEL029-243-9311 ⑯ 市立博物館 大町3-3-20 TEL029-226-6521 ⑰ 埋蔵文化財センター 塩崎町1064-1 TEL029-269-5090 ⑱ 内原郷土史義勇軍資料館 内原町1497-16 TEL029-257-5505 ⑲ 大塚農産館 大塚町1223-2 TEL029-226-6521 ⑳ 平和記念館 三の丸1-4-19 TEL029-291-3846 ㉑ 弘道館 三の丸1-6-29 TEL029-231-4725 ㉒ 茨城県近代美術館 千波町東久保696-1 TEL029-243-5111 ㉓ 茨城県立歴史館 緑町2-1-15 TEL029-225-4425 ㉔ 信楽園 常盤町1-3-3 TEL029-244-5454 	<ul style="list-style-type: none"> ㉕ 埋蔵文化財調査センター 中根3499 TEL029-276-8311 ㉖ 武田氏館 武田566-2 TEL029-276-2525
那珂市	
<ul style="list-style-type: none"> ㉗ 歴史民俗資料館 戸高429-2 TEL029-297-0080 ㉘ 茨城県植物園 戸高569 TEL029-266-2150 	
小美玉市	
<ul style="list-style-type: none"> ㉙ 小川資料館 小川1694-2 TEL0299-58-5826 ㉚ 玉里史料館 高崎291-3 TEL0299-26-9111 	
大洗町	
<ul style="list-style-type: none"> ㉛ アクアワールド茨城県大洗水族館 磯浜町825-3 TEL029-267-1515 	
城里町	
<ul style="list-style-type: none"> ㉜ 郷土資料館 阿波山173-2 TEL029-289-4946 ㉝ 茨城県埋蔵文化財センター「いせきびあ茨城」 北芥1481 TEL029-289-3300 	
東海村	
<ul style="list-style-type: none"> ㉞ 東海駅コミュニティ施設 貸しギャラリー 舟石川原西1-1-1 TEL029-267-9690 ㉟ 歴史と未来の交流館 杉松769-38 TEL029-287-0851 	
笠間市	
<ul style="list-style-type: none"> ㊱ 歴史民俗資料館 平町29 TEL0296-77-8925 ㊲ 石の百年館 堀出2307 TEL0296-74-5114 ㊳ 笠間の家 下市町79-9 TEL0296-73-5521 ㊴ 筑波海軍航空隊記念館 堀町654(茨城県立こころの医療センター敷地内) TEL0296-73-6777 ㊵ 茨城県陶芸美術館 笠間2345 TEL0296-70-0011 	

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵

※① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵

⑳ 合同就職説明会・相談会開催事業

(令和4年度決算額 3,382千円, 令和5年度予算額 4,868千円)

○ 令和4年度実績

オンライン合同企業説明会を開催し、県央地域内の企業58社が参加し、学生98名が参加した。

○ 令和5年度以降の計画

令和5年度は内容を見直した上で、上記を継続する。

タイムスケジュール

1日 3/9 (土) 2日 3/10 (日)

時間	1日 3/9 (土)	2日 3/10 (日)
9:45-10:00	オープニング・ガイダンス	オープニング・ガイダンス
10:00-10:15	第1セッション	第1セッション
10:15-10:30	第2セッション	第2セッション
10:30-10:45	第3セッション	第3セッション
10:45-11:00	第4セッション	第4セッション
11:00-11:15	第5セッション	第5セッション
11:15-11:30	第6セッション	第6セッション
11:30-11:45	第7セッション	第7セッション
11:45-12:00	第8セッション	第8セッション
12:00-12:15	第9セッション	第9セッション
12:15-12:30	第10セッション	第10セッション
12:30-12:45	第11セッション	第11セッション
12:45-1:00	第12セッション	第12セッション
1:00-1:15	第13セッション	第13セッション
1:15-1:30	第14セッション	第14セッション
1:30-1:45	第15セッション	第15セッション
1:45-2:00	第16セッション	第16セッション
2:00-2:15	第17セッション	第17セッション
2:15-2:30	第18セッション	第18セッション
2:30-2:45	第19セッション	第19セッション
2:45-3:00	第20セッション	第20セッション
3:00-3:15	第21セッション	第21セッション
3:15-3:30	第22セッション	第22セッション
3:30-3:45	第23セッション	第23セッション
3:45-4:00	第24セッション	第24セッション
4:00-4:15	第25セッション	第25セッション
4:15-4:30	第26セッション	第26セッション
4:30-4:45	第27セッション	第27セッション
4:45-5:00	第28セッション	第28セッション
5:00-5:15	第29セッション	第29セッション
5:15-5:30	第30セッション	第30セッション
5:30-5:45	第31セッション	第31セッション
5:45-6:00	第32セッション	第32セッション
6:00-6:15	第33セッション	第33セッション
6:15-6:30	第34セッション	第34セッション
6:30-6:45	第35セッション	第35セッション
6:45-7:00	第36セッション	第36セッション
7:00-7:15	第37セッション	第37セッション
7:15-7:30	第38セッション	第38セッション
7:30-7:45	第39セッション	第39セッション
7:45-8:00	第40セッション	第40セッション
8:00-8:15	第41セッション	第41セッション
8:15-8:30	第42セッション	第42セッション
8:30-8:45	第43セッション	第43セッション
8:45-9:00	第44セッション	第44セッション
9:00-9:15	第45セッション	第45セッション
9:15-9:30	第46セッション	第46セッション
9:30-9:45	第47セッション	第47セッション
9:45-10:00	第48セッション	第48セッション
10:00-10:15	第49セッション	第49セッション
10:15-10:30	第50セッション	第50セッション
10:30-10:45	第51セッション	第51セッション
10:45-11:00	第52セッション	第52セッション
11:00-11:15	第53セッション	第53セッション
11:15-11:30	第54セッション	第54セッション
11:30-11:45	第55セッション	第55セッション
11:45-12:00	第56セッション	第56セッション
12:00-12:15	第57セッション	第57セッション
12:15-12:30	第58セッション	第58セッション
12:30-12:45	第59セッション	第59セッション
12:45-1:00	第60セッション	第60セッション
1:00-1:15	第61セッション	第61セッション
1:15-1:30	第62セッション	第62セッション
1:30-1:45	第63セッション	第63セッション
1:45-2:00	第64セッション	第64セッション
2:00-2:15	第65セッション	第65セッション
2:15-2:30	第66セッション	第66セッション
2:30-2:45	第67セッション	第67セッション
2:45-3:00	第68セッション	第68セッション
3:00-3:15	第69セッション	第69セッション
3:15-3:30	第70セッション	第70セッション
3:30-3:45	第71セッション	第71セッション
3:45-4:00	第72セッション	第72セッション
4:00-4:15	第73セッション	第73セッション
4:15-4:30	第74セッション	第74セッション
4:30-4:45	第75セッション	第75セッション
4:45-5:00	第76セッション	第76セッション
5:00-5:15	第77セッション	第77セッション
5:15-5:30	第78セッション	第78セッション
5:30-5:45	第79セッション	第79セッション
5:45-6:00	第80セッション	第80セッション

㉑ 災害対策連携事業

(令和4年度決算額 0千円, 令和5年度予算額 0千円)

○ 令和4年度実績

- ・ 休日・夜間を含む防災担当者名簿を共有し、緊急時の連絡体制を構築した。
- ・ 物資・資機材の備蓄状況一覧を共有し、相互応援に備えた。
- ・ 城里町における震度5強の地震発生に伴う被害状況を即座に関係市町村で共有した。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き連絡体制の構築や情報共有を行い、災害時の迅速かつ円滑な相互応援体制づくりに努める。

⑳ 温室効果ガス排出削減啓発事業

(令和4年度決算額 541千円, 令和5年度予算額 650千円)

○ 令和4年度実績

11月～12月にかけて省エネ等に心がけた生活を実施し、電気量の削減に取り組むCO₂削減エコライフチャレンジを実施した。連携市町村で延べ5,300人の参加があり、1人当たりの電気使用によるCO₂排出量は、前回同時期と比べ減少した。

○ 令和5年度以降の計画

開催時期を10月～11月に変更し、同様の取組を実施する。



㉑ 環境啓発イベント相互参加促進事業

(令和4年度決算額 171千円,
令和5年度予算額 0千円)

(1) ガイドブック作成

○ 令和4年度実績

圏域市町村の環境啓発イベントや環境保全活動、環境学習会等の情報をまとめた環境活動ガイドブックを作成(2,500部)し、配布した。

○ 令和5年度以降の計画

隔年で情報を更新した環境活動ガイドブックを作成する。



(2) ホームページ等による周知

○ 令和4年度実績

環境啓発イベント，環境保全活動，環境学習会等について，ホームページ等への記事掲載により情報を広く発信した。

○ 令和5年度以降の計画

ホームページ等への記事掲載を継続する。

②5 公共交通の維持・確保事業

(令和4年度決算額 18,923千円，令和5年度予算額 18,855千円)

(1) 地域公共交通の域外運行

○ 令和4年度実績

地域公共交通相互乗入促進に関する協定に基づき，水戸市「水都（すいっと）タクシー」（旧「1,000円タクシー」）と那珂市「ひまわりタクシー」による2市間相互乗入を継続した（相互乗入利用人数 2,055人）。

○ 令和5年度以降の計画

上記取組を継続する。

(2) 各市町村間の拠点を結ぶバス路線の維持・拡充

○ 令和4年度実績

水戸市（赤塚駅）と城里町（石塚車庫，桜ノ牧高校常北校）を結ぶ路線バス「石塚・赤塚線」の運行を支援した（平日9便，休日6便，利用人数17,605人）。

○ 令和5年度以降の計画

上記取組を継続する。

令和6年度から（仮称）「石塚・内原線」を運行できるよう関係機関と協議を進める。

②⑥ 移住・定住促進事業

(令和4年度決算額 6,964千円, 令和5年度予算額 10,000千円)

(1) 対象者の目に留まりやすい手法によるPR事業（話題性のあるイベント開催事業）

○ 令和4年度実績

メタバースイベント「メタねば～ス！！～ねば～る君になって感じるいばらきライフ～」を開催し、ねば～る君や市町村職員、参加者がインターネットの仮想空間にアバターで登場した。そこで、各市町村の移住PRやねば～る君のトークにより移住の魅力を参加者に伝えるとともに、質疑応答や移住体験ツアーの案内を行った（参加者271人）。

○ 令和5年度以降の計画

令和5年度は、当事業は実施しない（「移住への意識の有無に関わらず、県央の暮らしをどれだけ多くの人に知ってもらえるか」よりも「地方での暮らしに興味がある方や、移住を検討している方等の移住への意識が高い方に対し、しっかりと県央の暮らしの魅力を伝えることができるか」を優先する。）。

令和6年度以降は、構成市町村と意見交換を行い、判断していく。



(2) 対象者の目に留まりやすい手法によるPR事業（SNSを活用した情報発信事業）

○ 令和4年度実績

SNSで各市町村のおすすめスポット情報や移住・定住イベントの告知を発信した（記事投稿数126件、Instagram総いいね数1,833件、Facebook総リアクション数4,017件）。

○ 令和5年度以降の計画

令和5年度は、当事業は実施しない（「移住への意識の有無に関わらず、県央の暮らしをどれだけ多くの人に知ってもらえるか」よりも「地方での暮らしに興味がある方や、移住を検討している方等の移住への意識が高い方に対し、しっかりと県央の暮らしの魅力を伝えることができるか」を優先する。）。

令和6年度以降は、構成市町村と意見交換を行い、判断していく。

(3) 対象者の目に留まりやすい手法によるPR事業（ホームページ制作・管理事業）

○ 令和4年度実績

ホームページ「#いばらきどまんなかライフ」を制作し、移住定住情報のほか、各市町村のイベントや観光スポットを周知した（ホームページ閲覧数 20,205PV）。

○ 令和5年度以降の計画

令和5年度は、ホームページで圏域の暮らしを分かりやすく伝える新たなコンテンツを制作するほか、パンフレットを制作する。

令和6年度以降は、構成市町村と意見交換を行い、判断していく。



(4) 対象者の目に留まりやすい手法によるPR事業（研修事業）

○ 令和4年度実績

各市町村の担当者を対象に、圏域で活動する地域プレイヤーを招き、ワークショップ型研修会を2回開催した。研修会では、地域プレイヤーの活動について講演いただき、圏域の移住・定住促進に向けた意見交換を行うとともに、ターゲットについて具体的なアイデア出しを行った（参加者延べ 37人うち地域プレイヤー10人、市町村職員 27人）。

○ 令和5年度以降の計画

令和5年度は、当事業については実施しない（令和4年度の研修会で得た知見を活かして他事業を実施する。）。

令和6年度以降は、構成市町村と意見交換を行い、判断していく。

(5) 圏域に興味を持った方が参加できる移住体験ツアー事業

○ 令和4年度実績

水戸・ひたちなかの各所をバスで巡って魅力を感じていただくとともに、圏域全体のPRや素敵なライフスタイルを過ごす地域プレイヤーとの出会いにより、地域の暮らし方に共感をしていただくような工程で、いばらき県央移住体験つながるツアーを実施した（日帰り1日，参加者5組9人）。

○ 令和5年度以降の計画

令和5年度は、国が実施する「おためし地域おこし協力隊」や「ふるさとワーキングホリデー」を参考とした移住体験やオーダーメイド型の移住体験ツアーを実施するなど、より移住への意識が高い方を対象とした事業を展開する。

令和6年度以降は、実施状況を勘案し、構成市町村と意見交換を行い、判断していく。

(6) 移住フェア等への合同出展による移住相談事業

○ 令和4年度実績

JOIN 移住・交流&地域おこしフェア 2023（2日間開催）へ出展し、構成市町村への移住相談を受けるとともに、移住体験ツアーのVR映像を見ていただいた（移住相談延べ92件，いばらき県央VR移住体験ツアー利用38件）。

○ 令和5年度以降の計画

令和5年度は、参加者の属性やパンフレット制作のスケジュールの都合等を考慮し、昨年度に引き続きJOIN 移住・交流&地域おこしフェアに出展する。

令和6年度以降は、各種移住フェアの情報を収集するとともに、構成市町村と意見交換を行い判断していく。



⑳ 地域おこし協力隊活動の活性化と広域展開事業

（令和4年度決算額 0千円，令和5年度予算額 502千円）

○ 令和4年度実績

参加市町村への事業ニーズ調査を実施した。

○ 令和5年度以降の計画

地域おこし協力隊員の事業ニーズ調査及び連絡会議の開催，連携事業の実施に取り組む。

⑳ 婚活支援事業

(令和4年度決算額 1,903千円, 令和5年度予算額 2,000千円)

○ 令和4年度実績

婚活セミナーをオンライン1回(参加者男性7名女性7名)開催し,身だしなみや服装,マナーなどの講義をしたほか,参加者からの多くの質問に答えた。

マッチングイベントをオンライン2回(参加者 男性延べ11名 女性延べ9名,マッチング延べ5組),対面1回(参加者 男性20名,女性20名,マッチング9組)開催し,参加者の人柄を引き出し,参加者同士で熱心に会話が交わされるなど多くの参加者から好評を得た。

○ 令和5年度以降の計画

構成市町村を会場とした対面型マッチングイベントを開催する。(令和5年度 水戸市,笠間市,ひたちなか市)



㉑ 職員人材育成事業

(令和4年度決算額 349千円, 令和5年度予算額 400千円)

(1) 合同研修の開催

○ 令和4年度実績

DX(デジタルトランスフォーメーション)導入研修を実施した。

○ 令和5年度以降の計画

ナッジ研修を実施予定。次年度以降の研修内容については,担当者会議において検討していく。

(2) 研修の相互参加

○ 令和4年度実績

ハラスメント防止研修，実務能力向上研修，行政法研修，接遇能力向上研修，再任用職員研修を実施した。

○ 令和5年度以降の計画

水戸市主催では実務能力向上研修，接遇能力向上研修，民法基礎研修，役職定年職員研修を実施予定。次年度以降も同様の研修を検討していく。

③〇 SDGsの取組に係る連携事業

(令和4年度決算額 282千円，令和5年度予算額 600千円)

(1) 小・中学生等を対象としたSDGs学習会の開催

○ 令和4年度実績

構成市町村の小・中学生のSDGsに対する理解促進を図るため，Pepperを活用しながら，各学校の授業やイベントにおいてSDGsの普及啓発に取り組んだ。

○ 令和5年度以降の計画

Pepperの活用実績が着実に増えていることから，引き続きPepperを活用したSDGsの普及啓発に取り組むこととする。



(2) 市町村職員等を対象としたSDGs研修会の開催

○ 令和4年度実績

構成市町村の職員を対象とし，二部構成の研修会を実施した。第一部では，ワークショップ（カードゲーム等）によるSDGsの理解促進を図り，第二部では，内閣府地方創生推進事務局から，いばらき県央地域においても活用可能な国のSDGs推進に係る施策の概要や，それらを活用した他自治体の先行事例等に関する説明を受けた。

○ 令和5年度以降の計画

市町村職員が率先してSDGsの普及啓発に取り組む必要があることから、引き続き同様の研修会を継続して実施し、職員のSDGsに関する理解を深めていく。また、担当部署以外の職員の研修会参加についても促していくこととする。

(3) SDGsに関する普及啓発活動の推進

○ 令和4年度実績

市民や企業等に対するSDGsの普及啓発を推進するため、先進事例の調査を実施した。

○ 令和5年度以降の計画

引き続き先進事例の調査や構成市町村との意見交換を実施し、効果的な手法の事業化に向けて検討を進める。

※ ビジョンにおける「Ⅲ 生活環境の充実」の成果指標

		ビジョン策定時点 の直近の値	2022(R4)年度末 時点の直近の値	目標値	
生活環境の充実(圏域全体の生活関連機能サービスの向上)					
1	医師数(別掲)	時点(年)	2018(H30)	2020(R2)	2026(R8)
		値(人)	1,385	1,480	1,470
2	看護職数	時点(年)	2018(H30)	2020(R2)	2026(R8)
		値(人)	8,601	9,142	8,900
3	健康づくりに係る社会実験の 取組件数	時点(年度)	2021(R3)	2022(R4)	2026(R8)
		値(累計件)	-	-	2
4	養成講座を修了した成年後見 従事者数	時点(年度)	2020(R2)	2022(R4)	2026(R8)
		値(人)	12	9	21
5	公の施設の広域利用者数(居 住市町村施設利用者数を除 く。)	時点(年度)	2020(R2)	2022(R4)	2026(R8)
		値(人)	193,699	331,932	270,000
6	合同就職説明会・相談会参加 事業所数	時点(年度)	2021(R3)	2022(R4)	2026(R8)
		値(事業所)	-	58	40
7	取組を実施する住民1人当 たりの電力使用による二酸化炭 素排出量(奇数年)	時点	2019(R1)年11月	2021(R3)年11月	2025(R7)年11月
		値	51.7kg-CO ₂	53.9kg-CO ₂	8%削減
8	取組を実施する住民1人当 たりの電力使用による二酸化炭 素排出量(偶数年)	時点	2020(R2)年12月	2022(R4)年12月	2026(R8)年12月
		値	63.9kg-CO ₂	61.3kg-CO ₂	8%削減
9	水戸市を經由する路線バスの 1日当たりの利用者数	時点(年度)	2020(R2)	2021(R3)	2026(R8)
		値(人)	29,862	19,489	35,000
10	移住・定住に係る市町村への 相談件数	時点(年度)	2020(R2)	2022(R4)	2026(R8)
		値(件)	330	669	600
11	研修参加者数(合同研修及び 相互参加に限る。)	時点(年度)	2021(R3)	2022(R4)	2026(R8)
		値(人)	-	110	350
12	SDGs普及啓発事業への参 加者数	時点(年度)	2021(R3)	2022(R4)	2026(R8)
		値(累計人)	-	518	1,000